

たかす議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名) 題字 宮島歩美

No. **166**

平成29年 3月定例会号

発行:北海道鷹栖町議会
編集:広報広聴常任委員会

2017年5月8日 発行



鷹栖の未来に向かって♪ 今年度から認定こども園となったたかす円山幼稚園で入園式がありました。(4月8日)

5つの基本施策の実現に向けて 2

町政および教育行政の執行方針への質問

新年度予算審査特別委員会 6

担い手研修センターに6840万円

6名が一般質問 14

定例会・臨時会 20

鷹栖中学校の2年生が議会を傍聴

前回の表紙の評価は? 23

モニターの皆さんからのご意見を紹介

町政の執行方針と教育行政執行方針は、孔雀草166号、広報たかす4月号と同時配布の「私たちのまちづくり」に掲載されていますので、合わせてご参照ください。

第1回定例会

平成29年3月9日～15日

第1回定例会は、3月9日から7日間の会期を持って開催し、平成29年度の町政執行方針及び教育行政執行方針の報告を受けた後、6名の議員が一般質問(14～19ページ)を行い、町長の考えをたしました。

議事は、補正予算、条例の制定・改正・廃止及び平成29年度の7会計予算を審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。(20～21ページ)

また、2件の人事案件について同意し、会期どおり3月15日に閉会しました。

実現に向けて

Q. 青野議員
地域防災に対する住民の意識や普及の啓発など、今後の考え方は。
A. 9月1日の防災訓練は、29年度は鷹栖地区で行います。7月から8月に消防団との訓練も計画しています。「お互い様づくり行動計画」の中で避難行動要支援者の名簿も作成しているもので、これを使った連携のモデル地区を10地区から、新年度は3地区追加して取り組んでいきます。

防災意識の啓発

消防団員の確保

Q. 片山議員

消防団員の確保に向けた新たな工夫は。女性への呼びかけの推進はしていくのか。
A. 新たな手法は考えていません。今後も積極的に若い人たちを勧誘していきます。

女性団員について現在のところは考えていませんが、状況の変化にに応じて、今後検討していきたいと思っています。



消防演習

窓口はどくに

Q. 日下議員

安心安全とひと口に言っても内容によって様々な窓口があるが、これを分かりやすい形にする考えは。
A. 役場のどの課に来ていただいても連携をとって対応していきます。

町内会加入推進

Q. 辻本議員

町内会についてどう考えているか。私は町内会への加入は義務であり、義務を

果たさず行政サービスを受けるのは不公平だと思ってしまう。果たさず行政サービスを受けるのは不公平だと思ってしまう。改築や新築、農業、子育てなどの助成は町内会を通じて行うべきでは。
A. 家族の次に身近な組織であり、大事なものと考えています。新築、改築等の助成の際は町内会加入の誓約をしてもらっています。その他の補助等については町税の滞納がないことなどが要件となっています。

- 心豊かな子供たちを育む環境づくり
- 安全・安心と
新たな可能性へ挑戦する農業づくり
- 地域資源の育成や発掘による
産業経済の魅力づくり
- だれもが安全に
安心して暮らせるまちづくり
- 手と手をつなぐ協働の地域社会づくり

平成29年度
まちづくりの方針
～5つの基本施策～



五つの基本施策の

新規就農者支援

Q. 舟根議員

30年度開設予定の担い手研修センターは施設型農業中心だが、土地型での新規就農希望者への資金面の支援も含めた対策は。また家族間の継承と第三者継承のどちらを推奨していくのか。

A. 資金面を考えれば家族間がスムーズだが、今ままで進めていて現状があることも踏まえ、いろいろなパターンを考えていくことが必要と考えています。

雇用の促進

Q. 青野議員

雇用の場の確保は定住対策としても重要。雇用促進対策としてどんなことを想定しているか。

A. 雇用促進対策には町内の雇用を促すため、町内企業が町民を雇用した場合に助成金を出していることなどを含んでいます。

工業団地への企業誘致や新規開業支援など、町内で

起業してもらったことも含め考えていきたい。

企業誘致推進

Q. 中村議員

外部機関への企業誘致推進事業委託とは外部への丸投げではないのか。どういう取り組みなのか。

A. 外部機関とはシンクタンクを想定しており、そこでアドバイスを情報ももらいます。営業活動はあくまで町の担当者が向うに行います。

新たな地域資源

Q. 中家議員

ふるさと納税の返礼品に文芸誌「新郷土たかす」を入れることで、町の歴史や文化などの地域資源を知ってもらうことができるのではないか。

A. 毎年継続して発行しているというのは他の地域では見られず、価値のある文芸誌と認識しています。おもしろい提案ですので、編集委員会とも相談し、検

討したいと思います。



新郷土たかす

移住定住

Q. 舟根議員

移住定住のPRはどう強化していくのか。またどこにポイントを置くのか。

A. 移住されてきた方の声を中心にした新しいパンフレットを作成中です。

動画にも新規就農された方の生の声を出させてもらっています。移住定住相談会などで直接お話しをするということも効果があるので、今後も継続していきます。

農業というのでも大きなポイントですし、人と人の繋がりがちょうどよいということも安心感につながると思います。

Q. 片山議員

移住定住の動画の再生回数をみると伸び悩んでいる状況と思われる。

動画だけでなくSNSやWEBページについても専門家の意見を取り入れながら効果的なPRをしていく考えは。

A. 移住相談会で動画を見せるなど活用しています。鷹栖町の知名度そのものを上げていくよう地道に努力していきたいと考えています。

移住定住の数値目標は 社会増減ゼロを目指す

※注

社会増減とは転入や転出によるもので、自然増減（出生や死亡）を含みません。

ここで町長が言っているのは、人口を減らさないということではなく、転出分を移住等による転入で補うという意味です。

Q. 中村議員
新築・改築の支援事業で132名が移住しており効果があったと考える。新年度はこの事業で何名の移住を目指すのか。

A. 平成31年度に向けて社会増減をゼロにするという目標を掲げています。



高齢者支援

Q. 大石議員
老人会活動や高齢者事業団の減少傾向を抑えることができないか。

A. 時代が変わり高齢になったときの生き方・考え方も変わってきていますが、今までの経験が生かせるよう、活動の支援をしていきたいと考えています。

鷹栖高校

Q. 植西議員
クロスカントリースキーが盛んという地域特性を生かし、中学卒業後も鷹栖高校で継続していただけるような取り組みをすると、特色ある学校づくりにつながるのでは。

A. 道立高校ということで制約もあるので実現にはハードルが高いと思いますが、チャンスをあきらめず働きかけなどしていきたいと思えます。

Q. 青野議員

鷹栖高校の卒業生を鷹栖町で優先して雇用するということとはできないか。

A. 嘱託職員については

鷹栖高校の卒業生1名分の枠を設けています。平成28年度は実績がありませんでしたが、29年度は希望があり、採用する予定です。



鷹栖高校前景



「生き抜く力」を確実に

体育施設の指定管理

Q. 片山議員

体育施設の指定管理は、費用が下がらなくてもサービスが向上するのであれば導入の意味があると考えますが、費用とサービスのバランスについての考えは。

A. サービスについては体育協会とも丁寧に話しながら慎重に進めていきます。1年間の中で、雇用など様々な面について慎重に検討していきたいと考えています。

自然体験

Q. 植西議員

自然に触れ合う中で子供たちに考えさせるような教育の必要性についての考えは。

A. 鷹栖小では小鳥の村で野鳥観察、北野小ではオサラッペ川の水质調査など、色々な経験をしています。今後も学校と協議し、自然体験を進めていきたい。

学力の状況

Q. 片山議員

全国学力学習状況調査で課題があるとされる特定の領域とは、小学校の国語A（主に知識・基礎を問うもの）とのことだが、この状況をどう分析し、どのように解決に向けて進めていくのか。

A. 全国平均よりは低いが全道平均以上にはなっています。学習支援員や特別支援員の活用により、学力の底上げをしていきたい。

Q. 斉藤議員

全国学力学習状況調査の「平均点」というものについて、どう考えているか。平均点より学ぶ喜びを大切にしたい。

A. 分からないものを分かるようにすると自然と平均点も上がると考えています。先生たちとタッグを組みながら頑張っていきたいと思えます。

コミュニティスクール

Q. 日下議員

すでに学校評議員制度がある中で、コミュニティスクールについてどのような考えで検討していくのか。町全体で一つのコミュニティスクールという考えか。

A. 北海道教育委員会の方針のとおり、平成32年迄に導入したいと考えています。市町村に一つあれば良いとのことですが、学校ごとに取り組んでいるケースもあるので、1年間検討していきます。

柔軟な地区公民館事業

Q. 大石議員

鷹栖地区や北野地区は公民館活動が活発だが、他の地区の住民が参加することができない。柔軟な対応を考えられないか。

A. 定員や費用の関係もありますが、余裕があれば受け入れもできると思うので、ぜひ参加したいという

事業があれば各公民館の運営委員や主事に相談してください。

句碑の森

Q. 辻本議員

「北成地区の句碑の森」という記述があるが、北成地区の住民としてはそういう認識はしていない。訂正すべきでは。

A. 中央地区にも一部かかっていますが、私としては北成地区という認識です。

Q. 青野議員

句碑を建立している方々との繋がりを大事にすることは交流人口を増やすことにもつながる。新たに案内を出すなどの取り組みが必要では。

A. 主体となる保存会とも充分協議し進めていきたいと思えます。

新年度予算編成

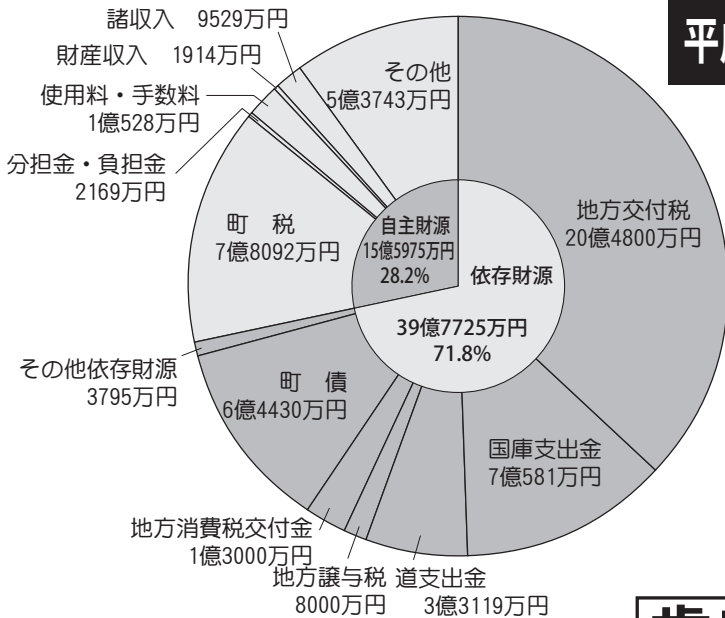
定例会2日目の3月10日、新年度予算についての提案説明を受けました。
 審査は、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、15日に、予算計上されている事業などについての質疑を行い、原案のとおり可決しました。

平成29年度 各会計予算額

会計名		平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	増 減	対前年 伸長率	
一	一般会計	55億3700万円	58億7200万円	△3億3500万円	△ 5.7%	
特別会計	国民健康保険	9億8535万円	9億8223万円	312万円	0.3%	
	後期高齢者医療	8413万円	8372万円	41万円	0.5%	
	介護保険	7億7707万円	7億8198万円	△491万円	△ 0.6%	
	公共下水道	1億9866万円	2億5264万円	△5398万円	△ 21.4%	
	公平委員会	62万円	47万円	15万円	31.9%	
	計	20億4583万円	21億104万円	△5521万円	△ 2.6%	
企業会計	水道事業	収益的支出	1億7180万円	1億7180万円	0万円	0.0%
		資本的支出	1億2755万円	1億218万円	2537万円	24.8%
		計	2億9935万円	2億7398万円	2537万円	9.3%
合	計	78億8218万円	82億4702万円	△3億6484万円	△ 4.4%	

平成29年度一般会計歳入歳出構成状況

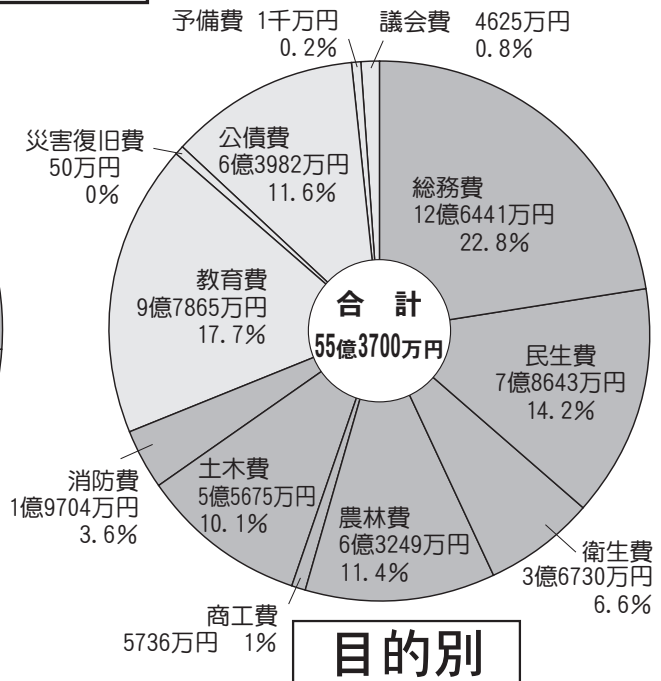
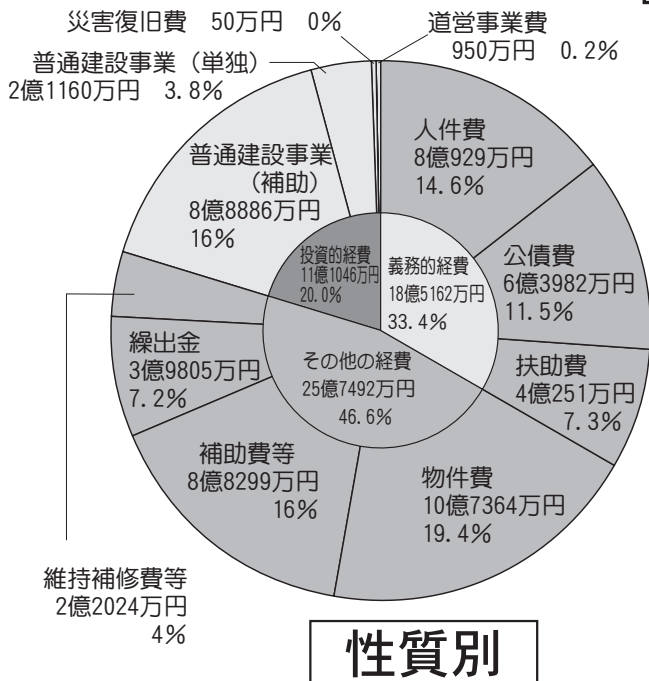
歳入



自主財源...
 町が自主的に収入とすることができるお金
 左のグラフ中「その他」は、寄付金、繰入金、繰越金の合計です。

依存財源...
 国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)
 左のグラフ中「その他依存財源」は、利子割交付金、配当割交付金、ゴルフ場利用税交付金など少額の交付金の合計です。

歳出



「あったかすなまち」に向け

担い手研修センター整備に 6840万円

主な事業（太字は新規・拡充事業）

農林業・商工業の振興

担い手研修センター整備、担い手応援資金、新規就農者確保、農業ヘルパー、北成地区簡易給水施設整備、「オオカミの桃」原料作付奨励、鷹栖町産米消費拡大、地域おこし協力隊活動、新規開業者支援、販路拡大促進支援、企業立地の推進など

地域福祉の充実

相談体制・見守り活動の整備、幼稚園型一時預かり、保育園等第2子以降保育料等軽減、認定こども園施設型給付費等支給、鷹栖保育園0歳児保育室冷房設置、保育園の給食地産地消の日、サービス付き高齢者向け住宅家賃助成、介護予防フォーラム開催、生活支援コーディネーターの配置、見守りサポートシステムの普及など

学校教育の充実

フッ化物洗口の実施、小学校インターホン設置、鷹栖小学校外壁改修、児童生徒用図書の実施、学習支援員・特別支援教育支援員の配置、鷹栖地区住民センター改築、中央・北成地区住民センタートイレ改修、メロディーホール袖幕更新、文化財保護団体活動支援など

地域間交流

姉妹都市友好訪問団派遣・受入、心のかけはしプロジェクトなど

生活環境の向上・充実

未舗装町道舗装工事、町道維持管理、橋梁長寿命化対策、小型ロータリー車購入、水道管布設替え（14号道路、北野東5-1）、北野排水区雨水計画見直し、町営バス更新、メロディー団地R4改修、移住定住の促進、パレットヒルズ整備、ごみ収集車更新、可燃ごみ・粗大ゴミの焼却委託など、

安心・安全の推進

街路灯LED化、第2分団消防自動車更新など

【農業】

Q. 青野委員 農業ビジョンの28年度から29年度の第1期について進捗状況は。

A. 産業振興課長 調査研究も含め、半分以上は進んでいると認識しています。

Q. 辻本委員 担い手研修センターはまだ全体の形が出ていない。今回の6840万円で完成するののか。また、毎年かかる費用は。

A. 産業振興課長 29年度予算で全体の施設整備は

終わらせません。ランニングコストは人件費で1000万円弱で、光熱水費もかかってきますので、経費の縮減に努めていきます。

Q. 辻本委員 これだけの費用をかけて、人を集められるのか。費用対効果は考えているのか。

A. 産業振興課長 本州や札幌の新農業者フェアに積極的に出向いて、鷹栖の農業のPRをしながら研修生の確保もしていきます。施設を作った無駄に終わることだけは避けたいと思う

ています。

Q. 舟根委員 担い手研修センターは当初、町が事業主体となるが、将来的には振興公社が担うのがふさわしいのでは。

A. 産業振興課長 運営主体については今後、関係機関とも協議していきたいと考えています。

Q. 青野委員 26年から始まった国営緊急農地再編事業は当初の計画が繰り延ばされているが、予定通り31年に完了するののか。

A. 産業振興課長 29年度予定分も含めると半分が完了となります。予定の変更は現在のところありませんが、秋ごろに30年度の事業量の見込みが分かり先行きが見えてくると思うので、今後については関係機関と相談しながら進めます。

6月から、ごみの分別を一部変更

埋立てゴミを減らして最終処分場を延命

Q. 大石委員 農産加工施設（四季の里）の加工指導員の賃金が減っている理由は。

A. 産業振興課長 29年度から地域おこし協力隊の方に指導業務を担ってもらうためです。

Q. 大石委員 地域おこし協力隊は農産と観光で1名ずつ募集しているが、状況は。

A. 産業振興課長 観光の方は面接した結果、雇用する予定です。農産の方は2月末までの募集期間に応募がなかったため、延長して募集を受け付けています。

Q. 大石委員 エゾシカの夏場の駆除についての考えは。

A. 産業振興課長 駆除依頼があった場合は猟友会に夏場でも対応してもらい、施設で解体処理しています。猟友会内部の取決めには町として特段言うことはな

いと考えています。

【ごみ問題】

Q. 舟根委員 ここ数年のごみ処理の状況は。

A. 町民課長 最終処分場の埋立量は、平成21年度で850トンあったものが、27年度で411トン、28年度の実績は300トン台になる見込みです。

6月からごみの分別方法を変えますが、子供にも分かってもらえるよう周知徹底します。

Q. 片山委員 毎月のごみ収集量や最終処分場の残容量を広報などで知らせることで、意識向上につながるのではないかと。

A. 町民課長 毎月の数値の報告では、なかなか分かかってもらえないと考えますが、効果的な周知につい

ては検討します。

Q. 辻本委員 最終処分場の残容量がどれくらいになれば次のステップについて考えるのか。

A. 町民課長 ごみの分別の変更の効果で埋立量が激減するため、現在の最終処分場を平成40年ぐらいまで使っていける予定です。その間に考えていきます。

Q. 辻本委員 災害ごみが出た場合には、それで間に合うのか。

A. 町民課長 災害ごみの取扱いについては、本町でも計画書を作成していま



町ではごみ処理の体験を受付けています

す。実際には、状況に応じ、管内中央部のごみ処理場と協議しながら進めていく形になると思います。

Q. 中村委員 一般廃棄物処理事業費が28年度に比べ3割ぐらい増えている理由は。

A. 町民課長 燃やせるごみの処分を旭川から愛別に変更したため予算書上の処理料は上がっています。実際には焼却灰を最終処分場に埋め立てなくてもよくなったため、かかっている費用は同程度です。

Q. 片山委員 ごみ分別の種類が多いという町民の声もあるが、6月からの変更により解決するのか。

A. 町民課長 本町は循環型計画に基づき、ごみ処理を進めています。試験ごみも含めると、分別の数は現在と変わりません。

防災関係機関の連携を検討

Q. 斉藤委員 回収した

資源ごみが何に使われているのか分かると意識が変わるのではないかと。パンフレットなどで周知する考えは。

A. 町民課長 町民のみならずに取り組んでもらえるよう努力したいと考えています。

【防災】

Q. 青野委員 防災対策

として職員用のライフジャケットと蛍光ベストの購入という軽微な整備が予定されているが、全体的な整備状況は。

A. 総務企画課長 他に庁舎等維持管理事業の中で庁舎の高圧受電設備整備工事を予定しています。

これにより備品の整備は一段落となります。

Q. 青野委員 発電機な

どの機械は定期的に点検しているのか。

A. 総務企画課長 訓練

などを通して、また住民センターの発電機も行事などの際に確認作業を行っています。



訓練時に発電機の確認もしています

Q. 舟根委員 地域農業

推進会議で田んぼダムという取り組みをしているが、防災担当の総務企画課との連携はどうなっているか。

A. 産業振興課長 大雨のときに田んぼの水の落し口を止めて配水路に流れ込む水を抑える取り組みで、各地区の連絡体制は整備がされています。総務企画課との連携については今後具体的な検討をします。

Q. 木下委員 昨年の大

雨災害では現場と災害本部の連携がとれていなかった。災害時の連携について関係者を集めた会議体を持つては。様々な災害に対して、綿密なコミュニケーションも必要では。

A. 総務企画課長 会議体については特に考えていませんでしたが、連携は大事です。どんな形がよいのか検討していきたいと考えます。

Q. 木下委員 消防団員

の大型・中型免許取得に対する補助について、希望者が多い場合の対応は。

A. 総務企画課長 希望者が多いときは、補正予算で対応したいと思えます。



第3分団の消防自動車

Q. 青野委員 消防団の

体制は、設備や分団の数なども含め、現状維持を考えているのか。

A. 総務企画課長 今の状況では各分団の活動が可能と判断しています。人数が減ってきた場合は、消防の幹部会議で検討します。

【総務企画課】

Q. 中村委員 公共サイ

ン整備事業の看板設置委託料45万円の内容は。

A. 総務企画課長 北斗地区住民センターとパレットヒルズへの誘導看板を予定しています。

Q. 中村委員 空き家等

対策協議会の構成と開催回数。

A. 総務企画課参事 委員15人以内で組織し、2回を予定しています。

公共施設の新エネルギー導入

鷹栖地区住民センターに太陽光発電

Q. 片山委員 まちづく
り懇談会のさらなる工夫と
は。

A. 総務企画課参事 28
年度秋の鷹栖地区と北野地
区での懇談会で、週末の開
催とグループに分けた座談
会方式を試験的に取り入れ
好評でした。これらを踏ま
え、従来の予算の範囲内で
さらなる工夫をしていきま
す。



座談会方式でのまちづくり懇談会

Q. 辻本委員 町内会未
加入者はどれくらいいるの
か。未加入者への今までの
今後の対応は。

A. 総務企画課長 町内
会に加入している世帯数と
町全体の世帯数で単純に計
算すると加入率は85%で
す。どうすれば未加入を防
げるか、地区連合会長のみ
なさんと相談しており、今
後も検討をすすめたい。

Q. 辻本委員 誰が未加
入なのか行政でも把握し、
加入に向け動くべきでは。

A. 総務企画課長 そ
こまで把握するつもりはあ
りませんが、町としても重
要な課題だと認識している
ので、加入に向けて支援で
きるところは支援していき
たいと考えます。

Q. 片山委員 町史編さ
ん準備のための嘱託職員2
名は、どのような方を考え
ているのか。今回の町史編
さんを通じて、若い世代へ
の引継ぎも考えては。

A. 副町長 町史発行は
29年度30年度の2力年をか
けて行います。役場職員〇

B2名を考えています。手
法については新年度、着手
してから検討したいと考え
ます。

Q. 中家委員 低炭素化
促進事業費の60万円はすべ
て住宅用太陽光発電システ
ム設置に対する補助金との
ことだが、再生可能エネル
ギーについて調査研究する
ための費用も必要ではない
か。

A. 総務企画課参事 そ
のための専門の旅費や研修
費は計上していませんが、
別件で先進地を訪問した際
に視察をしたり、新エネル
ギー関係の技術者を招いた
勉強会を開いたり、効率的
な情報収集をしています。



住宅の太陽光発電

Q. 中村委員 新エネル
ギービジョンに沿った進め
方がされていると思うが、
進捗状況は。

A. 総務企画課参事 平
成22年に取りまとめた後
はびねすでの廃油ボイ
ラー、新しい鷹栖地区住民
センターでの太陽光発電の
導入など、各施設の様態に
合わせ進めています。



はびねすのボイラー室

特定健診受診率

目標達成のため情報発信していく

Q. 舟根委員 パレット
ヒルズで冬のイベントの開
催は。集客はどれくらい向
上させる考えか。

A. 総務企画課参事 28

年度、冬場の小鳥の観察会
に合わせ巣箱作りを開催し
ました。今後もどのような
ことができるか考えていき
たいと思います。

入り込み数は増えすぎて
も利用しづらくなるので、
数だけでなく質も大事にし
ていきたいと考えていま
す。



パレットヒルズ冬の催事

Q. 舟根委員 パレット
ヒルズの費用対効果算出委
託の内容は。今後も継続し
ていくのか。

A. 建設水道課長 国の
交付金を使いながら整備を

進めています。費用対効
果の検証が要件になってい
るため委託します。一度の
みの策定です。

Q. 青野委員 振興補助

事業の「輝く君の夢応援事
業」が廃止になり、全体の
事業費もかなり減額されて
いる理由は。

A. 総務企画課参事 廃

止は利用実績がゼロという
状況が続いていたため
です。全体の減額は、町内会
のトイレの改修事業が要望
のあったところについて一
通り整備が終わったため
です。

Q. 青野委員 子供たち

のいろいろなチャレンジを
応援することは今後も必要
では。

A. 総務企画課参事・教

育長 どのような形がよい
か課の垣根を超えて進めて
いきます。10月くらいには
日本ハムファイターズのO
Bに、子供たちの指導をし

に来ていただくという企画
もしています。

【産業】

Q. 舟根委員 秋の大収

穫祭の開催費が減額されて
いる。27年度は火花があっ
たが、夕方以降の集客のた
め何か考えていることはあ
るのか。

A. 産業振興課長 推進

会議や料理業組合との協議
の中で要望もありましたの
で、火花に限らず、夜の集
客イベントを今後検討して
いきます。

【健康福祉課】

Q. 大石委員 各種健康

診査で心電図、貧血、尿潜
血検査の追加が予定されて
いるが、何歳からを考えて
いるのか。

A. 健康福祉課長 特定

健診に合わせて、30歳以上
で考えています。

Q. 青野委員 特定健診

の受診率はどれくらいを目

標にしているのか。

A. 健康福祉課長 現在

は国保の特定健診受診率は
約47%、後期医療は約43%
で、国からは60%を目標に
するように指導されています。

Q. 青野委員 受診率を

公表し、個々の意識を改革
することも大事。町民課と
健康福祉課の連携について
の考えは。

A. 町民課長・健康福祉

課長 広報その他の媒体
を活用し、積極的に情報発
信していきたいと考えま
す。

Q. 大石委員 予防接種

委託料が極端に減額されて
いる理由は。

A. 健康福祉課長 子宮

頸がん等の予防接種を国で
も勧奨を見合わせている状
況もあり、28年度の実績に
合わせた予算になっています。

河川改修の早期実現を要望

【建設水道課】

Q. 青野委員

街路灯防

犯灯のLED化は、どこを重点的に整備する計画か。また全町的な整備の進捗状況は。

A. 建設水道課長

鷹栖

北野両市街地のワット数の高いものを中心に交換をしていきたいと考えています。

全体で約900灯弱あり、LED化率は10%に満たない状況です。

Q. 辻本委員

イブンペ

ウシ川の改修が決まらないと川に面した部分の道営基盤整備は手がつけれられない。どんな状況になっているのか。

A. 建設水道課長

北海

道から28年3月に、改修事業を実施していきたいと回答をもらっています。しかし国の事業で農業排水用として改修した経緯があり、現在移管の手続きを依頼しています。早期着手に向け

て要望を進めていきたいと考えています。



川の水があふれ冠水した道路

Q. 木下委員

オサラッ

ペ川の改修は進んでいるのか。移管の話はどうか。

A. 建設水道課長

北海

道に要望をしている段階です。28年度には樹木の伐採を行ってもらっています。

移管についてはイブンペウシ川のあとになると思います。

【教育課】

Q. 中村委員

生活習慣

見直し運動推進事業の予算が大幅に減額されている理由は。

A. 教育課長

近隣の講

師にお願いすることにしたためです。新年度はクリアファイルの作成もありません。また児童生徒数も減少しています。

Q. 中村委員

小学校の

備品購入費310万円の内訳は。

A. 教育課長

図書購入

費として鷹栖小45万円、北野小50万円、残りはサッカーゴールやトランプポリン、校務用ソフトなどの備品購入費です。

【給食】

Q. 青野委員

年2回の

「鷹栖町産の給食の日」を増やすことはできないか。地場産の食材を食べることに意識づけについての考えは。

A. 教育課長

それ以外

の日も、お米はすべて町内産ですし、極力町内産の野菜などを使っています。鷹栖町産のものというPRも

しています。

回数増については今後検討したいと思います。

Q. 中村委員

給食の無

償化について、北海道では8町村で取り組んでいるが、考えは。

A. 町長

高齢化も進ん

でおり、今後、福祉分野での費用が増えていくことが想定されます。移住定住への効果と町全体の財政バランスを考えながら検討していかねければならない課題と認識しています。



町産給食の日

図書購入費1,155万円を予算化

学校、住民センターの図書環境を充実



【図書関連】

Q. 中村委員 中学校教育振興事業の教育備品購入費260万円の内訳は。

A. 教育課長 110万円を学校図書、150万円を授業で使う教材備品に考えています。

Q. 中村委員 中学校には12学級あり、この場合の図書基準冊数1万720冊であるが、29年度には何%になる予定か。少しでも早く100%にする考えは。

A. 教育課長 65・8%になります。平成34年までに基準冊数達成という目標が少しでも早まるよう、予算確保に向けて財政当局とも協議をしながら努力していきます。

Q. 木下委員 小中学校の図書はどのように選書しているのか。冊数以外の蔵書の配分比率などの要件はあるのか。

A. 教育課長 図書購入に当たっては、町の司書とも協力しながら、学校で選書しています。また中学校では図書委員を通じて生徒の意見も聞いており、教員や生徒が必要とする図書を購入しています。配分比率、廃棄の基準等の目安もあります。

Q. 中村委員 学校図書の選書をするためにも、専門家である学校司書が必要ではないか。

A. 教育課長 まだ学校司書の配置までは考えていませんが、現状では司書教諭の資格を持った職員に選書してもらっています。

Q. 片山委員 図書購入費が大幅に増えているが、どのような層をターゲットにして、本を選んでいるのか。

A. 教育課長 特に限定はせず、現状に応じ、それぞれ冊数を増やしていく形で、購入を続けています。

図書カードの登録状況

19歳以下	350人	42.3%
20歳～	29人	3.5%
30歳～	80人	9.7%
40歳～	101人	12.2%
50歳～	66人	8.0%
60歳～	201人	24.3%
計	827人	100%

Q. 片山委員 図書カードの登録状況などに合わせて選書も必要では。農業の町として、農業関連の図書を充実させるなど特色を出していく考えは。

A. 教育課長 登録状況を踏まえた上で購入したいと思っています。農業関連の図書についても要望があれば購入していきたいと思えます。

【国保特別会計】

Q. 青野委員 国保会計の予算で、29年度は基金からの繰り入れをしないとのことなので、国保税の負担は上がることになるのか。

A. 町民課長 過去7年間、基金から繰り入れしていますが、29年度は基金の積み増しも取り崩しもしない考えです。繰り入れがない分、上からざるを得ないと考えています。

Q. 青野委員 平成30年度の都道府県単位化に向けて、事業のあり方や保険税額のあり方について、町民に周知する必要があるのでは。どのような手立てをとっていくのか。

A. 町民課長 まだ状況がはっきりしていない部分もあり、改定るときに話ができるようになると思えます。

一般質問

一般質問とは定例会において、各議員が住民を代表して、行財政全般にわたり町当局の考え方や、疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

質問

学校図書の実況と学校司書の配置の考えは

答弁

財政部局とも相談し進める(教育長)
当面は地区住民センターの司書を派遣する(教育長)

中村 公憲 議員

●上川管内の蔵書基準を達成市町村

小学校	南富良野町、占冠村、和寒町、 下川町、音威子府村
中学校	東神楽町、上川町、中富良野町、 和寒町、下川町、中川町

参考：文部科学省平成28年度「学校図書館の現状に関する調査結果(概要)」

2年前の第4回定例会で質問した際、学校図書の実況は、鷹栖小63・1%、北野小56・1%、鷹栖中41%で、今後蔵書の充実を目指す、また学校司書の配置については研究、検討するとの答弁だった。学校図書館は、本を貸

質問 34年というのは遅すぎる。学校図書館法という法律で定められていることなので、本腰を入れて努力すべきだ。近

答弁 2月末現在、鷹栖小81・9%、北野小59%、鷹栖中53・5%で図書標準には達成していませんが、各学校平成34年度には達成見込みです。

質問 上川管内でも当麻町や東川町などで学校司書を配置している。鷹栖町における各学校の学校司書の配置計画は。

答弁 学校司書の配置は努力義務であり、道内では小中学校の14%程度の配置状況です。上川管内は5割を超える小中学校で配置していますが、

質問 地区住民センターの司書を1名増員して2名にするのは良いことだが、法律に定められた学校司書を優先して配置すべきではないか。

答弁 将来は置きたいと思えます。

し出すだけでなく、学びの環境を豊かにし、自ら学ぶ子供を育てる場だ。そして子供と書物をつなぐ場でもある。児童生徒が図書に触れることは学校教育において最も大切なことと考える。学校図書の100%達成の計画は。

質問 隣の町は、他の町に達成している。本町も2、3年で達成できないか。

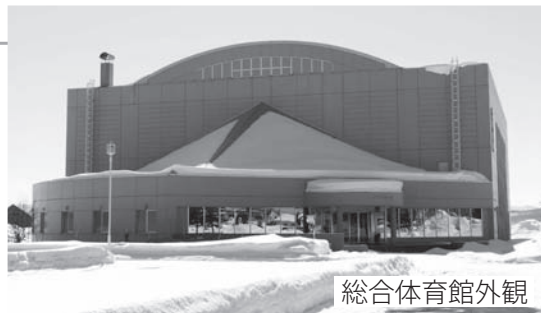
質問 努力義務だからといって、配置計画も予定も無いのは怠慢ではないか。



ズバリ!!

ココを問う!

質問



総合体育館外観

平 成15年、地方自治法の改定により公の施設の運営に指定管理者制度が導入された。

民間活用により経費の縮減とサービスの向上を図るもので、鷹栖町でも丸山パークゴルフ場、プラザ・クロス10、各地区住民センター、パレットヒルズで導入している。これについて、総合的な評価は。

答弁 町長 いずれの施設でも利用者のニーズに対応した適切なサービスの提供が図られ、町においてでも事務作業の軽減が図られており、順調に指定管理者制度が浸透し導入の効果があらわれていると評価しています。

答弁

一つ一つ丁寧に検証したい(町長)

指定管理者制度のさらなる活用は

質問 鷹栖町には、他にも制度の対象となる物件がある。また新しい鷹栖地区住民センターや担い手研修センターなど、今後も公の施設は増加すると思われる。

答弁 町長 法律で指定管理にすることを基盤は。どの施設でも指定管理できない施設ではないこと、民間事業者の運営が可能でノウハウの活用やコストの削減が図れること、行政が主体でなくても平等性・公平性が保てること。さらに鷹栖町独自の視点として、管理を町民による団体や町内企業が担うことです。サービスの質が低下しないよう、利用者との綿

密な調整が必要になるので、一つ一つの施設を丁寧に検証したいと考えています。

質問 平成28年度教育行政方針で各体育施設の運営について、指定管理に向けた調査研究を進めるとのことだったが、どのような状況になつているか。

答弁 教育長 町民の運動習慣定着化に向け、体育協会に、受任の可能性の確認と有効活用に向けての協議を進めてきました。維持管理方法や経費について慎重な検討が必要と判断したため、平成29年度も引き続き調査研究を行います。

質問 指定管理者として体育協会を想定しているとのことだが、公募は行うのか。

答弁 教育長 公募します。

質問 メロディーホールは当面の間、直営と考えている理由は。

答弁 教育長 町の文化振興を進める上で、現在の直営の運営管理が望ましく、また指定管理による効果が見出せないためです。

片山 兵衛 議員



質 問

高齢者ドライバーへの取り組み

大石 隆 議員

答 弁

交通安全の啓発に努める(町長)

2016年に起きた死亡事故のうち運転者が65歳以上のケースは3割近くに上る。

2017年3月12日から施行の改正道路交通法では、75歳以上の運転者が「認知機能が低下したときに行われやすい一定の違反行為(18基準行為)」をした場合、認知症の恐れありとされていなくても、更新時に臨時認知機能検査を受けることになる。

この検査で認知症の恐れがあると判定されると、医師の診断を受け、認知症とされた場合、運転免許証の取消しまたは停止対象となる。

認知症の患者が2025年には700万人を超えるという推計される中で、運転免許証自主返納への対策は。

本町では70から79歳の運転免許証自主返納者に交通費の助成を行っている。東川町では車のない世帯に属する65歳以上の方に交通費の助成を行っているが考えは。

答弁 3月12日から改正道路交通法が施行され、高齢者ドライバーの安全対策はかなり改善されるものと期待しています。運転免許証の自主返納は町民一人一人の個人差や各家庭内の協力状況など個人の判断に委ねること

になると考えていますが、老人会での交通安全教室の開催など、返納を含めたPRを行っていきます。高齢者の交通費助成事業は経済的負担軽減と福祉の向上を目的として平成4年から実施しており、対象者は80歳以上です。

平成23年度には、保有するすべての運転免許証を自主的に返納した70歳以上の方も対象者に追加しました。本事業の対象者拡充は、福祉事業全般を精査した中で検討したいと思います。

質問 運転免許証自主返納についての相談窓口はどこになるのか。

本町でも70歳前から免許証を所持していない方や、車を持っていない方がいる。高齢者交通費の助成を75歳以上の運転免許証自主返納者に特定するのは、不公平感があるのではないかと。

答弁 「サンホールはびねす」内の生活福祉相談センターや地域包括支援センターが相談窓口です。

本町では、除雪、屋根雪下しなど、高齢者へのいろいろな助成事業も行っており、限られた財源の中で、バランスのとれた福祉事業を考えていきます。



70歳以上の方が付ける
高齢運転者マーク

質問

徘徊高齢者の早期発見と保護組織の拡充は

答弁

地域での見守り体制を充実させたい(町長)



29年度から導入する見守りタグ

徘徊 履歴の事前把握は事前対策や早期発見の取り組みを可能にすると言われている。本町でも徘徊歴者がいると聞いているが、個人情報にも触れる徘徊歴などの、実態調査はどのように進められ、またその結果はどのように活用されているのか。

答弁 旭川など1市6町村で組織されているやまびこネットワークへの情報提供は、過去の徘徊歴、発見場所などを家族などの申し出者が行っており、本町から行っているわけではありません。

健康福祉課や地域包括支援センターでは、認知症などの相談を受けてお

り、相談内容から徘徊履歴などを把握している場合もあります。

質問 近隣でも町内会

単位を組織化したシステムを立ち上げ、年2回の予行演習などのきめ細やかなサーティーネットの組織化や機能強化に取り組んでいる地区がある。本町でも地区ごとのサーティーネットの組織化・機能強化を検討しているか。

答弁 町内会などから

搜索協力の申し出があれば、連携して取り組み、早期発見に努めたいという考えですし、災害時の避難支援が必要な方の個人情報把握や、民間事

業者と連携した地域の見守りネットワークの整備を進めています。

新年度からは新たな見守りシステムも導入し、地域での見守り体制を充実させたいと考えています。

質問 QRコードが印刷されたシールを爪に貼

ることで効果を上げていく自治体もあるが、取り入れる考えは。

答弁 議員のアイデア

も良いと思いますが、新年度は、現在計画しているシステムを構築したいと考えます。

質問 運転免許返納を

進めるためには、マイ

カーに代わる交通手段の充実が求められる。デマンド方式乗り合いバス導入の成果と課題は。またライドシェア(相乗り)等の多様な交通手段を組み合わせる考えは。

答弁 デマンド方式に

よる運行により25・4%の利用者増となっています。

平成28年10月から始まったばかりで1年も経過していませんので、全体の傾向課題を把握した上で、町民の声を大切に、交通事業者とも連携しながら、より良い方法をこれからも慎重に考えていきたいと考えています。

日下 義朗 議員



質 問

女性管理職登用の考えは

答弁

意欲、能力、実績のある女性職員を積極的に登用したい(町長)

斉藤 哲子 議員



近年、女性の社会進出は目を見張るものがある。日本は「男は外で働き、女は家庭を守る」との考えが根強い状況だが、女性の持つ柔軟性、人を引き付けるカリスマ性、笑顔、話しやすさ、時には男性にはできない思い切りの良さも実は女性を持っている。

女性だからこそできることはたくさんあると考える。鷹栖町では管理職のほとんどが男性だが、町長は女性管理職の登用について、どのような考えをお持ちか。

答弁 町長 女性の管理職を増やし、多様性のある組織をつくることは、女性の視点によるきめ細やかな政策の実現や、行政サービスの質の向上のために大変重要だと考えています。

本町における女性管理職の状況は、平成28年度で主幹職が4名、課長職が1名の5名となっています。これは管理職全体の21・7%、女性職員全

体の15・6%になります。個人の資質や特性に応じて、意欲、能力、実績のある女性職員を積極的に管理職に登用したいと考えています。

質問 上川管内小中学校で女性校長・教頭は21名、旭川市では20名が在職しており、女性の管理職はますます増加傾向にある。しかし、鷹栖町の学校においては、長年にわたり女性管理職の登用がない。

子供を預かる学校において、管理職が女性であることをお勧めしたい。女性管理職の登用がない理由があるのか。

答弁 教育長 教職員の人事異動に関しては、北海道教育委員会と決定しています。鷹栖町教育委員会として、女性管理職を学校に置かない理由は特段あるわけではありません。

質問 女性の校長教頭に対してどのような印象を持っているか。

答弁 教育長 22年間の教育委員会勤務の中でたくさんの方の先生方と関わってきました。

その中には校長になられた方もいますが、頑張ってくれている姿を見て頼もしく、嬉しく思いました。



全国女性校長会研究大会

質問

情報発信等の総合的な考え方は

答弁

特に重要な課題と認識している(町長)



三鷹市のイベントで鷹栖町のPR

情報技術(IT)の高度化に伴い情報化社会が到来している。本町も公式ホームページやSNS、動画サイト等により様々な情報発信をしている。

情報発信と情報収集は行政運営においても特に大きな課題になると考えるが、今後の取組みは。また情報発信の拠点となる町単独での常設ブース設置の考えは。

答弁 企業誘致をはじめ移住定住施策や空き家等対策、地場製品の販売促進は、鷹栖町まち・ひと・しごと創生総合戦略でも主要な施策として重点的に推進しています。

情報発信・収集が特に重要な行政課題である事は認識していますので、東京サテライトオフィスや浅草まるごとにつぼん、移住交流情報ガーデン等を効果的に活用し取組みます。

なお、常設ブースの単独設置は現段階では予定していません。

質問

たかすサポートカード所有者の交流会を開催し情報交換などを行う考えは。また、サイモンズカードのポイント交換品に本町のお米や特産品を提供することはできないか。

答弁

現在のカード登録者は約1900人になりました。平成28年度、会員に対して各案内をしています。本町への関心度に隔たりがあるので、その属性に応じた情報発信戦略を立てる事が先決と考えています。更に、29年度中に個人情報適切な管理体制を整え、情報交換の場としての様な形態がよいのか検討します。

質問 東京都やその近郊に在住する鷹栖町出身者による東京鷹栖会を設立し、情報発信・収集を行っては。また、全国の本町出身者や縁のある人を観光大使に任命しPR活動等を行う考えは。

答弁 行政主導で発足させる考えは現段階ではありませんが、関係者が自発的に会を発足させる場合は応援したいと考えています。

観光大使の任命については、首都圏におけるPR活動を担って頂ける方が居れば心強い所ですが、鷹栖町の認知度も低いので特産品等の財産を生かしながら、町外への情報発信強化に努め、対策を検討していきます。

質問 東京都やその近郊に在住する鷹栖町出身者による東京鷹栖会を設立し、情報発信・収集を行っては。また、全国の本町出身者や縁のある人を観光大使に任命しPR活動等を行う考えは。

答弁

行政主導で発足

させる考えは現段階ではありませんが、関係者が自発的に会を発足させる場合は応援したいと考えています。

観光大使の任命については、首都圏におけるPR活動を担って頂ける方が居れば心強い所ですが、鷹栖町の認知度も低いので特産品等の財産を生かしながら、町外への情報発信強化に努め、対策を検討していきます。

青野 敏 議員





補正予算

平成28年度予算が下表のとおり補正されました。主な内容は記載のとおりです。

一般会計		補正額	補正前の額	補正後の額
		3350万1000円	61億8602万7000円	62億1952万8000円
一般会計	内訳	議会費	△302万1000円	執行見込みによる減額
		総務費	7398万円	執行見込みによる減額、基金積立金等の増額
		民生費	2484万6000円	執行見込みによる減額、障害福祉サービス給付費等の増額
		衛生費	△633万9000円	執行見込みによる減額
		農林費	△546万2000円	執行見込みによる減額、新規就農者確保対策補助金等の増額
		商工費	△28万7000円	執行見込みによる減額
		土木費	△1948万6000円	執行見込みによる減額、除排雪委託料及び公住改修工事の増額
		消防費	△11万4000円	執行見込みによる減額
	教育費	△3061万6000円	執行見込みによる減額、基金積立金等の増額	
特別会計	国民健康保険	△1176万8000円	9億8110万8000円 執行見込みによる減額	9億6934万円
	介護保険	△1134万9000円	8億530万6000円 執行見込みによる減額	7億9395万7000円
	公共下水道	△3495万円	2億5264万2000円 執行見込みによる減額	2億1769万2000円
水道事業会計	計	△970万円	2億7422万4000円	2億6452万4000円
	収益的支出	△440万円	決算見込みによる水処理負担金・減価償却費の減額、消費税額の増額	
	資本的支出	△530万円	決算見込みによる建設事業費等の減額	



条例

次のとおり条例が制定、一部改正、廃止されました。概要は記載のとおりです。

【制定】

■鷹栖町空き家等の適正管理に関する条例

良好な生活環境の保全や空き家等を活用したまちづくりの推進を図るため、空き家等への対策や適正管理に関する措置について必要な事項を定めるため条例制定

【一部改正】

■鷹栖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び鷹栖町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づき職員の介護休暇の分割、介護時間の新設及び育児休業等に係る子の範囲の拡大

■鷹栖町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の改正に伴う条例整備

■鷹栖町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律等の公布による条例整備

■鷹栖町保育所の延長保育に関する条例の一部を改正する条例

認定こども園たかす円山幼稚園の開園に伴い、町内保育施設における保育時間の統一

■鷹栖町就学前子どもの教育・保育等に関する条例の一部を改正する条例

保育料納付期限の見直し及び保育園等に通園する第2子以降の保育料の軽減を図る

■鷹栖町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

新たに地域密着型サービスに位置づけられた「地域密着型通所介護」の基本方針、人員並びに設備及び運営基準等を国の基準省令を基に定める。また、地域密着型通所介護事業に運営推進会議の開催を義務付け

■鷹栖町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

認知症対応型通所介護事業に運営推進会議の開催を義務付け

■鷹栖町水道、下水道使用料の助成に関する条例の一部を改正する条例

対象要件や助成基準の見直し（ひとり暮らし高齢者、障がい者通園世帯、障がい者グループホーム）

■鷹栖町公営住宅管理条例の一部を改正する条例

入居の際の連帯保証人の要件の明確化、入居承継時の連帯保証人の提出の義務付け等

■鷹栖町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例

入居の際の連帯保証人の要件の明確化、使用権の承認及び譲渡時の連帯保証人の提出の義務付け、家賃の額を規則から条例に明記等

■鷹栖町住宅建築支援事業補助金条例の一部を改正する条例

条例の有効期限を平成29年3月31日から平成32年3月31日まで延長

【廃止】

■鷹栖町高額療養費貸付基金条例を廃止する条例

現行の高額医療費制度において、限度額適用認定証による現物普及が定着し、一部負担金の貸付を必要としないため条例廃止



報告

■民事調停の申立てに係る専決処分の報告

公営住宅の滞納住宅使用料及び遅延損害金の支払い請求の申立てを行なった旨の報告を受けました。

■和解に係る専決処分の報告

公営住宅の滞納住宅使用料及び遅延損害金の支払い請求の申立てを行っていた2件について和解した旨の報告を受けました。

■自動車事故による和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分の報告

公用車に係る事故について和解し損害賠償額が決定した旨の報告を受けました。



その他

■鷹栖町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

現行の計画に、担い手研修センター整備事業及びごみ収集車整備事業を追加しました。



人事

■鷹栖町監査委員の選任

平成29年4月15日で任期の満了する鷹栖町監査委員について次の方の選任に同意しました。

前井 誠一さん（鷹栖町10線6号）【再任】

■上川町村等公平委員会委員の選任

平成29年3月31日で任期の満了する上川町村等公平委員会委員について、次の方の選任に同意しました。

大西 知幸さん（空知郡南富良野町字幾寅752-20）【再任】

3月15日、鷹栖中学校の2年生が議会の傍聴にきてくれました。

傍聴した生徒の感想をいくつかご紹介します。

- すごいと思ったのは農家のことや、教育のことなど幅の広いことがらについてふれていることです。いろいろな面からの意見を言って、よりよくしようとしていることがわかりました。
- 傍聴して、選挙の一票が重くなっていることに気づいていい授業でした。
- 鷹栖町の予算55億円という莫大な数字が、あそこにいた約10人強の人たちの発言によって動くのかと思うと、本当にあの仕事はプレッシャーがかかるなと思う反面、なくてはならない仕事だなとも思う。
- 女の人が少ない。ゴミを処分するのにお金がかかることを初めて知っておどろいた。
- 議会では中学校や小学校の話をしていて、自分たちのことも考えてくれているんだなと思った。この町を良くしていくためには自分がどのようなことをすればいいか考えてみたい。
- 普段の生活の中で視野を広げて物事を考える大切さを改めて知ることができた。
- （ごみの問題について）家に帰ったらインターネットでもう少しだけ詳しく調べてみようと思った。
- 大きなお金の使い道を決める大切な会議で、自分たちが使う物、施設などが関係しているものもたくさんあった。
- 自分の意見を言えていてかっこよかった。
- みんな意見の違うところはあるけれど「町のために協力したい」という気持ちは一緒だと思った。

第1回臨時会

1月19日に臨時会を開催し、新田健一議長（当時）の議長辞職を許可。その後行われた議長選挙において、木下忠行議員を議長に選出しました。

- 議長の辞職の件…議長の辞職はその可否を会議に諮って決めることとなっています。
新田健一議長から平成28年12月29日に提出された辞職願について、辞職を許可しました。
- 議長の選挙…議長が欠けたので直ちに議長選挙を行いました。
投票による選挙の結果、木下忠行議員を議長に選出しました。
- 委員の選任等…新議長の就任に伴い欠けた委員の補充等を行い、新たな議会構成となりました。

新たな議会構成（平成29年1月19日～）

議長：木下 忠行 / 副議長：植西 辰義

総務文教常任委員会 (定数 6)		経済福祉常任委員会 (定数 6)		広報広聴常任委員会 (定数 6)		議会運営委員会 (定数 5)	
委員長	大石 隆	委員長	辻本 篤	委員長	片山兵衛	委員長	中村公憲
副委員長	舟根輝好	副委員長	中家 彰	副委員長	中家 彰	副委員長	大石 隆
委員	青野 敏	委員	中村公憲	委員	木下忠行	委員	植西辰義
//	斉藤哲子	//	片山兵衛	//	大石 隆	//	辻本 篤
//	植西辰義	//	日下義朗	//	舟根輝好	//	片山兵衛
//	欠員	//	新田健一	//	斉藤哲子		

注) 新田健一議員が平成29年2月3日をもって議員を辞職しました。

第2回臨時会

2月13日に臨時会を開催し、平成28年度一般会計補正予算（第5号）について議決しました。

- 議員の辞職の報告…閉会中に提出された議員辞職願は議長が許可し、直近の会議で報告されます。
新田健一議員から平成29年2月3日に議員辞職願が提出され、同日許可した旨、議長から報告がありました。
- 補正予算…平成28年度予算が下表のとおり補正されました。主な内容は記載のとおりです。

		補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計		5727万9000円	61億2874万8000円	61億8602万7000円
内訳	総務費	5449万5000円	ふるさとまちづくり応援寄付金の記念品等増額、基金積立金等の増額	
	土木費	278万4000円	車両修繕費の増額	

第3回臨時会

3月31日に臨時会を開催し、平成28年度一般会計補正予算（第7号）について議決しました。

- 補正予算…平成28年度予算が下表のとおり補正されました。主な内容は記載のとおりです。

		補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計		54万円	62億1952万8000円	62億2006万8000円
内訳	総務費	504万円	ふるさとまちづくり応援基金積み立て等の増額	
	土木費	0円	財源の組替え	
	公債費	△450万円	起債償還利子の確定による減額	

●全体

- ・中央部5町議会議員研修会（上川町） 2月3日
- ・第2回臨時会 2月13日
- ・第3回定例会 3月9日～15日（11、12、14日は休会）
- ・第3回臨時会 3月31日

●総務文教常任委員会

- ・委員会 2月13日（第2回臨時会について）
2月23日・24日（第1回定例会について）
3月31日（第3回臨時会について）

●経済福祉常任委員会

- ・委員会 2月13日（第2回臨時会について）
2月21日・22日（第1回定例会について）
3月31日（第3回臨時会について）

●広報広聴常任委員会

- ・委員会 3月13日・23日・30日
4月10日・14日

●議会運営委員会

- ・委員会 2月28日

●議会活性化委員会

- ・役員会 3月10日
- ・総会 3月31日

次回定例会は、6月19日(月)からの予定です。

モニターのみなさんの声

議会報「孔雀草」165号に対するモニターの方
からのご意見の一部をご紹介します。

【表紙について】

- ・皆 笑顔 最高!!
- ・カラーでひとの顔も判別できてよかった。
- ・たまにはハデな表紙にして目を引きつけることも大事。

年1回「はたちのつどい」のときにはカラーの表紙にしており、好評いただいています。カラーの時以外も手に取ってもらえるよう今後も工夫をしていきたいと考えています。

定例会ページで「条例の一部を改正する条例」等、何がどのように変わったのかわからない。調べる手立てもわからない。

条例改正などの表記については今回、横書きに変更し、簡単な内容も併記するようにしました。今後もより分かりやすい掲載の仕方を検討しますが、気になるものがありませんでしたら議会事務局にお問合せください。

中身が読みやすく改善されていて、声が届くことの面白さを感じました。

ありがとうございます。いただいたご意見を参考にしながら、これからもすぐに対応できることはなるべく早く取り入れていきたいと考えています。

都合のつく時に議会も聞きに行ってみようと思いました。コーヒーあるんですね。

都合つく時にいつでもきてください。

今回の「孔雀草」からは新しいモニターの方が担当してくれることになりました。

162号から165号までの1年間、モニターを担当していただいたみなさん、ありがとうございました。

傍聴席に落し物ありました。(茶色の手袋)



議会事務局でお預かりしています。



福井 和成さん
(ハーモニー町内会)

「感謝」

人間は一人では生きていけないとつくづく思います。朝、目が覚め仕事に向かう為車を運転し職場へ、冬場の今、鷹栖町は当たり前のようにきれいに除雪されている。それは誰かが除雪している。交差点に差しかかり信号があり当たり前だが赤、青、黄の色が点灯する。これも誰かが管理している。休日になり買い物へ出かける、店には店員がいてレジをしてくれる、さらに買う物にもよるが説明をしてくれるなど、みんなそれぞれ当たり前のように仕事をこなしているだけ。だがしかし買う人の気持ちに

なればその人達が居なければ買うことが出来ない。

最初に述べたように、人が居なければ普通の生活が普通じゃない。人は、みな、助け合い生活している。人は、自分の生活の為にやるべき事をやっているが、それが他人にとってはやってくれているになり、やっていただいている、当たり前な事を当たり前と思わず感謝の気持ちを持ってばおのずと「ありがとうございます」という感謝の気持ちが出てくるのではないのでしょうか。常に感謝の気持ちを忘れないでいたいと思います。

■ わたしの一言 ■

「平林家流のおもてなし」

鷹栖町に移住して早いもので一年が経とうとしています。

名古屋に居た頃は観葉植物さえも枯らしてしまうくらいセンスのない私が、昨年の春に大きなビニールハウスを建ててもらったので野菜作りを始める事になりました。

米作りの師匠である由良さんの奥さんを始め、野菜作りのプロである奥様方に種や苗、そしてアドバイスを頂きながら夏にはトウモロコシ、なす、大豆、人参、玉葱、トマトにキュウリなど10種類以上の野菜を収穫する事が出来ました。

レタスなどの葉物野菜は土壌の窒素が多かったようで、エグみが強く

苦かったのが今年の課題にしたいと思います。

また、去年は本州から70人程来客がありました。小さな子供が遊びに来た時には、畑から自分でトマトを収穫し食べていました。なんと、その子は今までトマトが嫌いだったそうなんです！

今年もたくさんの友達が遊びに来てくれるので、本州ではなかなかできない野菜の収穫体験をしてもらえようように美味しい野菜を作りたいと思います。

鷹栖町で暮らす二年目の春が楽しみです。



平林 純子さん
(20線14号)

くじやくそうクイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

問1. 新築・改築支援事業で鷹栖町に移住してきたのは、〇〇〇名。

問2. ○月にごみの分別方法が変わります。

問3. 新年度は農産と観光で〇〇〇〇〇〇協力隊を1名ずつ募集。



ヒント この議会だより「孔雀草」の中に答えがあるので、探してみてください。

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1,000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)前回は10名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.hokkaido.jp

《しめきり》

平成29年5月31日 消印有効